

11月7日 JR東労組ステーションサービス協議会

申2号 2017年度 年末手当

に関する申し入れ、団体交渉を行う!

基本給月額 3.0ヶ月 を要求!

満額回答しかなない!

交渉のポイント JR東労組は、11月7日「2017年度年末手当」の団体交渉を行いました。そして、会社の経営状態を明らかにさせるとともに、2017年度第2四半期決算の売上高、売上原価、営業利益、経常利益の増収増益は「現場第一線で働く組合員の努力によるものである!」ことを強く訴えました。会社は「組合員の皆さんの頑張りや、11駅の新規一括受託による収入増」を示し、労使の共通認識を確認しました。JR東労組は、今後も満額回答を勝ち取るために団体交渉を行っていきます。

組合 ■売上高56億4800万円、営業利益は前年を大きく上回る業績を計上することができた。
 ■新規一括受託駅拡大に伴う受託収入増額は、現場第一線で「お客さまへのサービス」を担う組合員の努力によって生み出された利益である。
 ■基本給月額3.0ヶ月は支払える能力は十分ある!

会社 ■上期の増収増益は、現場の組合員の皆さんの努力の賜物。
 ■第2四半期決算として利益を上げているが、下期の駅受託計画が不透明であるため、見通しは楽観視できない。
 ■経験者以外の採用増に伴い、研修費用など人材投資をしなければならない。

JESS 損益計算書【単位：百万円】

	2016年度 第2四半期	2017年度 第2四半期
営業利益	5,105	5,648
売上総利益	490	725
営業利益	73	245
当期純利益	51	154



利益は大幅増!
支払能力は十分にある!

JR東労組の旗の下に結集し、職場からのたたかいで年末手当の満額回答を勝ち取ろう!